



学校だより ふうしゃ

令和3年5月28日
アムステルダム日本人学校
No 3
<http://www.jsa.nl/>

できることから1歩ずつ



昨年度から続くコロナウイルス感染症対策をとりながら、新学期がスタートして2ヶ月目が終わろうとしています。例年のような大きな行事はまだ実施できませんが、少しでも児童生徒が体験できるよう、実施方法を工夫しながら教育活動を進めている所です。

例年であれば6月に子どもたちが楽しみにしている行事が計画されていましたが、残念ながらその一つである合同運動会は、中止となりました。また、林間学校も中学部においては、別の活動内容に変えて実施するようにしています。(小学部は2学期の予定)

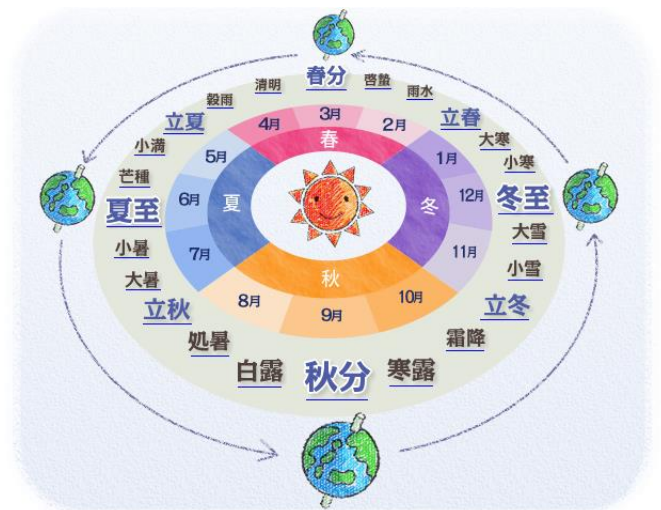
◇ 6月の学校行事

- 3日(木) 第2回PTA執行委員会
 - 8日(火) 児童委員会
 - 10日(木) 運動会
 - 11日(金) 運動会予備日
 - 14日(月) スクールカウンセラー来校
 - 18日(金) 中学部定期考査
 - 21日(月) 小学部4年風車見学
 - 24日(木) オンライン授業参観
 - 25日(金) 中学部フォトコンテスト
 - 28日(月) スクールカウンセラー来校
 - 29日(火) ランチコンサート高学年
クラブ活動
 - 30日(水) ランチコンサート中学部
- ※ 今後の状況で変更の可能性がありま
すので、その都度お知らせします。

季節を感じる言葉

日本では、観測史上2番目に早い梅雨の季節を迎えています。オランダには、つゆがないと聞きましたが、この数日は梅雨を思わせるようなお天気が続きましたね。

日に日に明るい時間が増えていますが、このオランダでも夏至を過ぎると、少しずつ明るい時間が減っていくと聞きました。そこで、日本で使われている『二十四節気』についてご紹介します。



『二十四節気』は太陽の動きをもとにしています。太陽が移動する天球上の道を「黄道」といい、黄道を24等分したものが『二十四節気』です。黄道を2等分した「二至」が夏至と冬至です。さらに、春分と秋分の「二分」によって4等分され、それぞれの中に立春、立夏、立秋、立冬の「四立」を入れて「八節」一節は45日なので、これを15日ずつに3等分し『二十四節気』となるそうです。それぞれの読み方にも意味があるので、調べてみると面白いですよ。